

2016年度第3回ハイキング(笠間稲荷と益子焼)の報告

2016年6月3日(金)快晴に恵まれたハイキング日和に、日本三大稲荷の一つと云われている笠間稲荷と、江戸時代末期に窯が築かれ以来陶器の産地として有名な益子焼きの街の散策を行いました。
参加者は20名で、益子町にある坂東三十三観音霊場の一つの西明寺にも参詣し、一日楽しい時間を過ごしました。

今回の訪問地 (西明寺 → 益子(陶芸美術館、窯元つかもと、食事) → 酒蔵(松緑) → 笠間稲荷)

熊谷駅南口 7:00 出発
羽生PA 7:50 小休止

9:20 西明寺駐車場到着



今回お世話になった
本庄観光バス



観光ボランティアガイドの方の到着待ち

PASAR(ハサール): パーキングエリアの略称「PA」、サービスエリアの略称「SA」、リラクゼーションの頭文字「R」を組合わせた造語。
インドネシア語「市場」、スペイン語「立ち寄り」という意味も持つ。

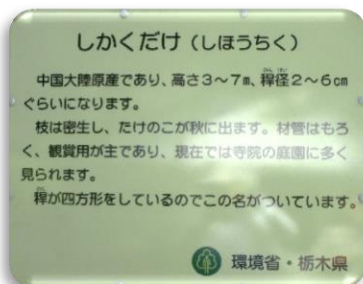


西明寺、益子焼を案内して頂いた
観光ボランティアのお二人

西明寺境内の
天然記念物
「楠の木」



天然記念物
「しかくだけ」



竹の形状が四角です。
写真ではちょっと分かりませんが、
握ってみるとわかりました。



2班に分かれて観光ガイドのお話を聞く



9:40 独鈷山(とくこさん)西明寺の参道階段



重要文化財
「三重塔」
室町時代(1539)建立
板屋根が特徴、
塔としては日本唯一



重要文化財 西明寺「楼門」
室町時代(1489)建立、茅葺き入母屋造り



閻魔堂



奪衣婆



悪童子 閻魔大王 善童子

皆さんは
善童子に呼ばれますか？
悪童子に呼ばれますか？
最後は奪衣婆の判断だそうですね...



本堂 茅葺き形銅板葺き、江戸初期の火災で焼失(1702再興)彫刻彩色に江戸文化が反映される





10:40 益子焼共販センター／益子陶芸美術館へ



陶芸メッセ益子へ



移設した濱田邸

人間国宝 濱田庄司が
使用した登り窯
益子に移設・再現したもの



11:30 窯元つかもとへ約1.4km徒歩で...



益子焼の陶祖は大塚啓三郎と言われている。文政11年(1829年)6月15日福手村の生れ。ろくろや窯を見て興味を覚え、やがて領主の黒羽藩主、大関増昭から土地を与えられ、窯を築き創業2年目にて、黒羽藩の御用窯と成る。

「つかもと」は横川の釜めしの釜を焼いている
窯元



つかもと窯の登り窯を見学する一行



窯の中には焼き物が

12:25 古民家改造の蕎麦処「つかもと」で昼食となりました。



「天もりそば」で
腹ごしらえ

13:20 つかもとレストホールにて土産物を見に。

14:30 酒蔵「松緑(まつみどり)(株)笹目宗兵衛商店」
を見学



14:50 笠間稲荷神社を参拝

笠間稲荷を参拝後
試飲、購入した方も



笠間稲荷山門

境内には菖蒲



笠間稲荷本殿前にて集合写真を・・・ハイ！チーズ

今回はハイキングは前日までの強風も止み、快晴のさわやかなハイキングとなりました。奈良時代(737年)建立の坂東三十三観音霊場の一つ、西明寺に参拝しました。

閻魔堂の中でのガイドさんの説明で、自分は善童子かな悪童子かな・・・など反省もしました(笑)

益子焼の美術館では以前から考えていた「益子焼」とは違った陶芸もあり少しづつ変わってきている面も見ました。また、笠間稲荷は日本三大稲荷の一つと言われていますが、思っていたより規模が小さいのに、少し驚きました。

皆さんと、楽しい一日を過ごすことができました。参加の皆さまお疲れさまでした。

幹事の福祉・環境科の皆さまありがとうございました。

次回(7月)は軽井沢です。多くの方のご参加をお待ちしております。

記 加藤(ふる伝)